

学校運営協議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名 | 第5回 学校運営協議会 |
| 2 | 日時 | 令和3年2月12日 午後5時45分から午後7時30分まで |
| 3 | 会場 | 浦里小学校 校長室 |
| 4 | 出席者 | 井澤良夫会長、田村実英副会長、安齋理江委員、杉村晴彦委員
齋藤惇委員、大井正一郎委員、平林千春委員、片桐芳之委員 |
| 5 | 市側出席者 | なし |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 | 傍聴者 | なし |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和3年2月17日 |

協議事項等

1 開 会

2 井澤良夫会長挨拶

3 学校長挨拶

4 協議

(1) 2学期学校評価について

学校長：資料の説明

委員：児童新聞、とてもいいアイデアだと思う。どんな内容でも子どもたちが作ったものがあればいいと思う。

学校長：学校便りに載せてある3年の社会科新聞が社会科見学で見てきたことをコンピューター学習も含めて、打ち込んできれいに仕上げている。6年は歴史新聞を作っている。

委員：取り組む時間をとるのもなかなか難しい。

委員：学習の中でやったものを新聞にしてもらおうと「子どもたちはこういう勉強をしているのか」というのが分かっても楽しいと思う。

委員：外国語活動はどのようなことをしているのか。

委員：ALTのアイナ先生に来ていただいて3～6年生は授業として、1、2年生合同で英語を使つての遊びなどをして英語に触れている。

委員：封筒での集金の件について、今まで問題はあるのか、どうなっているのか。

委員：六中は来年度、川西小は今年度から引き落としになる。お金を学校で扱うことは基本無いらしい。親の立場から言うと月末に慌てるのがなくなり、ありがたいと思う。

委員：具体的にはどうなっているのか。

委員：コロナの状況になり、六中は朝の時間に農協さんが来ている20分の間に持って行ってお金のやり取りをするというのはこれからの時代、リスクがあるのかなと思う。

委員：昔から引き落としにしてもらいたいという話はある。

委員：振り込みではなく、農協が個人の口座から引き落とすということか。

学校長：引き落とされる日までに残高を確認しておかなければならない。入ってなかったりすると、連絡をとったりしなければならぬ。

委員：全員が入れておいて一括で入ってくれば問題無いが。

学校長：今はほとんどの学校が引き落としである。

(2) 学校運営協議会による浦里小学校学校評価について

学校長：学校評価の保護者の意見、子どもの意見、地域の意見を見た中で浦里小学校を運営協議会の方から見てこの観点についてどうだろうかということの評価して意見があれば書いていただきたい。評価項目は学校教育目標に照らし合わせた時に総合評価として学校運営協議会の方としての評価を言葉で書いていただきたい。下の分野と評価項目は記載してある評価の観点を見ていただいて、学校としての取り組みはどうかA,B,C,Dの評価基準に丸をつけていただきたい。ご意見がある方は書いていただきたい。学校関係者評価ということでまとめて市の方に報告したい。

委員：2月末までに教頭先生の方に提出をお願いしたい。

(3) 来年度教育課程改善に向けての取組について

学校長：コロナ禍ということで来年もどういう状況になっていくか楽観視は出来ないが、今年度のことを教訓とし、今年に対応を生かして、来年度コロナ禍の状況を見つめ、必要な対策をとる、これを基本にする。今年度こういう対応をした、こういうことが出来た、こうすれば出来るということを生かして行事やコミュニティ・スクールとしての教育活動を取り戻していく。そのようにイメージしている。今年ふるさと学習発表会にしても発表の仕方を変えたので、時間的なものもあって上手くいかなかったところ、徹底出来なかったところもあるが、出来たことを今年度の成果として来年度さらに良くなるようにしていきたい。その他の行事についても今年のスキー、スケート教室も中止になってしまった。行事をどう捉えるかというのもしっかり検討しているところである。1番はコミュニティ・スクールの地域との連携、地域が支えるような活動に今年はもっと来ていただければと思うこともあった。状況を見ながら本来の浦里小学校の姿、良さを出し続けていくことを取り戻していくことが出来ればと考えている。今年1年の様子を見てこうすればというご意見をもらえればと思う。

委員：生放送のシステムはあるのか。

学校長：昨日使った。子どもたちは教室でふるさと学習発表会を見ていた。子どもに聞いてみるとあまり良く見えなかったと言っていた。音が聞き取りにくく何言っているか聞こえなかったと言っていた。

学校長：GIGA構想で上田市も一人一台タブレットを持って活用する学習をしていくことになる。休校になった際のタブレットをつがってオンライン学習が出来るようになる。

委員：オンライン授業がやりづらいのが分かる。休校にするよりは遅れはなく出来る。

委員：ふるさと学習発表会を平日にやったが、土曜日にやって保護者の参加率を増やす取り組みは可能か。

学校長：土曜参観は11月にやっている。土曜日に行くと月曜日休みになるので、子どもたちが休みになる。そうすると保護者が対応で困るご家庭もあるかと思う。土曜参観自体をなくしている学校もある。

学校長：保護者の立場としてどうか。

委員：参加しやすくなると思う。校長先生がおっしゃったように振替休日の関係もあり、低学年だと保護者がついていないといけなかなと思う。このあたりがクリアできればと思う。

委員：生でなくてもケーブルビジョンなどでリモートで見られるようにすればいいのではないか。CDなども提供してもらっているのか。

学校長：やっていない。自分達で撮影できればいいが、放送をコピーして売るとなると著作権の違法になる。

委員：保護者の方の意見が一番大事だと思う。

学校長：お助け隊の活動についてはどうか。

委員：接触を避けるという距離感が分からないと言う難しさもあって何か埋める策があればやっ

の方がいいと思う。

学校長：遠足で感染防止対策をきちんとして行けば十分出来るかと思う。

委員：コミュニティ・スクールとしての実績を残していく必要があると思う。

学校長：飛沫を押さえる取り組みが出来るのが一番だと思う。教室に入るお助け隊の活動も気を付けていかなければならない。

委員：校長先生の説明していただいた通り、感染しない為にはどうすればいいかというのにつきますと思う。

委員：お助け隊の活動の中で出来るものを見いだすことが必要。

(4) あいさつ・メディアコントロールの取組状況について

委員：先週末、3学期の第3回メディアコントロール・あいさつ運動の取り組みを行った。今年度は緊急事態宣言や医療緊急事態宣言も出ていたりメディアに接する機会も多かった。百人一首やお正月らしい凧揚げをしたりしていた様だ。3学期の活動のまとめは今集めているところなのでまとめ次第ご報告する。

委員：実践目標などはまだ先でいいのか。

学校長：ここで何か意見をもらえれば。一昨年の大きな観点はあいさつとメディアコントロールを大事にしていこうということで文言は時代に合わせて変えた。

委員：これしかテーマがないということになった。ご時世とかと分けて考えなければいけないと思う。

学校長：PTA講演会や人権などについてもメディアに関わって準備をしていたが中止となった。

委員：人権啓発の関係でなかよし講演会が11月にあったが、音楽会で一同に保護者、地域の方、児童が集まって体育館でと言うのが難しいと言う判断で中止にさせてもらった。

委員：反対ではなく、メディアを使って学習しないといけないことが身につくつある。画面を頼りに生活しないといけない時代が来ている気もする。この部分の折り合いを考えていかないといけない気がする。

委員：難しいなと思ったのがYouTubeを視聴できる時間が制限できたりするが、オンラインでやっている時間も終わらないうちに睡眠時間になってしまうということがあった。楽しむだけではないメディアの部分も出て来ている。教育の手段として使っている部分もある。

委員：SNSなどか。

委員：個人情報や写真を簡単に載せないとか。

委員：常識の話が常識になっていない子どももいる。

委員：メディアの怖さを学校は指導しているのか。

学校長：外部講師を呼んで5、6年生を中心に授業してもらった。

委員：それはいいと思う。毎回やってもらった方がいいと思う。

委員：実践目標については次回以降。

委員：目を守ろうというのもある。テレビを見る距離よりもタブレットを見る距離は近いから。

(5) 令和2年度活動報告の構成について

学校長：コミュニティ・スクール、学校運営協議会の活動報告をまとめ市教委に提出している。昨年度から内容を簡略化した構成にしている。資料にあるとおりの構成。

委員：提出はいつか。

学校長：3月中に提出する。

委員：次回の委員会には間に合うか。

学校長：次回までには間に合う。作成したのを見てもらってから市教委に提出する。

(6) ふるさと学習発表会、お助け隊総会について

学校長：昨日、例年と形を変えて実施した。保護者等のアンケートをまとめて来年度以降に生かしていく。お助け隊の総会、コミュニティ委員会は今年1回も開催できず残念だった。3月にお助け隊の活動を行う予定。

委員：全員集まるというのはあまり良くないかもしれない。

学校長：全員は集まらない。一番は隊長を決めていただくことなので事前に決まっていれば新隊長だけの出席でかまわない。

委員：通知を出すのはどうするのか。

学校長：集まるという通知内容にするのか、今年度と来年度が同じ隊長の方であるのならば、集まる必要はないとするのか。

委員：そのあたりの確認をしないといけないということか。

学校長：そのようになる。

委員：隊長が決まっていればいいかと思う。

委員：隊長の数は何人か。

学校長：23隊ある。

委員：結構な人数になる。

学校長：それぞれの隊の名簿も配布しないといけない。

委員：隊の活動をしないとどんどん衰退してしまうと思う。人数が減っていきそうな様子がある。隊長の隊員確認というのが必要かもしれない。

委員：やめたところが人数多くて活動に支障があるなら新しい人を集めないといけないと思う。

委員：新規、退会の返答を教頭先生に集計していただいて隊長に伝えるのが一番かと思う。ただ名前だけ、と言う方もいるので隊長の方に確認してもらおうという方法をとってもらわないと困ると思う。活動の日に集まらないと困るから。

学校長：退会、新規の返答が来ているものを直して隊長さん宛に名簿と文書をつけて状況を伝える。その上で隊長を引き続きやっていただけるか、必要であれば会を開くことも出来るという通知を出させていただく。全体の会は特に行わない。

(7) 「令和2年度卒業証書授与式」「令和2年度転退職員紹介式」「令和3年度入学式」について

学校長：卒業式と入学式は先ほどの通り。転退職員紹介式は例年だどご来賓の方に出席していただいて別室で行っている。ご来賓の方を呼べないので夕方に転退職員紹介の会ということでご来賓の方にご案内を出して行った。今年度もそのような形で行わせていただく。

委員：昨年は19日の16時30分からだった。学校運営協議会が始まる前に行った。

委員：昨年と同じでいいか。

委員：来賓の方は大勢か。

委員：お助け隊隊長や民生委員や自治会長が参加していた。

委員：3月19日に行く。

学校長：入学式は4月6日火曜日。第一回目の学校運営協議会が開かれていないのでこのメンバーでお手伝いをお願いしたい。

(8) その他

①PTA会計監査について(3月24日(水)16:00~)

学校長：3月24日水曜日16時から行う。

委員：PTA送別会だが、例年だと飲食を伴って浦野公民館で行っており、評議員会でも議題にし、そのような形での開催は難しいということで飲食は取りやめる。転退職員紹介式と来てい

ただ方もほぼ同じと言うことで同日にまとめさせていただく形の方が来ていただく方にもいいかと思っている。このような方向で話を進めていきたい。それに伴い、学校運営協議会の皆さんに来ていただく都合もあるので年間計画で24日に会計監査、送別会が入っている。予定が変わるのであれば3月19日に行えればと考えている。

委員：去年は19日に行っていた。

委員：会計監査に時間がかかり結構待っていた。

委員：24日でもいいのではないか。

委員：別日で。

委員：別日で会計監査をお願いします。

委員：議題は以上だが何かあるか。

委員：子どもを守る安心の家の旗はボロボロのものもあったり、あるはずの旗がなかったりしている。事件事故は忘れた頃に来るので確認した方がいいかもしれない。学校に旗の予備はあるのか。

学校長：予備は置いてあって、例年子どもたちが集団下校して行ってあいさつをしているが、今年休校があったので一軒一軒電話して行って旗が必要であるという方に取りに来ていただいたり、お届けしたりした。

委員：目につかないと意味が無いので確認した方がいいかと思う。

学校長：お助け隊の連絡手段について。学校としてオクレンジャーを使えればと思っているがスマホ等対応できないという方もいらっしゃるかと思い、通知を出している。何かいい手段はないか。

委員：活動している方、特に隊長に連絡が出来れば楽かと思う。のはらっこはラインをしているのでラインという手段もある。

学校長：現在、スクールサポートスタッフに来ていただいているが4月からは予算が出ないので少しでも負担を減らすことができたかと思う。隊長だけでもオクレンジャーを使うか。

委員：その方向で進めた方がいいのでは。

学校長：PTAも急な連絡もオクレンジャーを使っている。

委員：どの携帯でも出来るのか。

教頭：メールが送られてきて、メールを開くと見られる。

委員：頻繁に来ていただく方にも登録していただくとか、教頭先生に判断していただいてもかまわないと思う。

学校長：費用のこともあるので相談していく。

5 閉会の言葉

今回は第6回 3月19日（金） 開始時刻は午後5時45分